

城北の福祉

ともに支え ともに生きる

第 93 号
2025, 11, 30
(令和 7 年)

編集・発行
城北地区
社会福祉
協議会

サマースクール

今年も、令和 7 年 7 月 29 日（火）から 7 月 31 日（木）にかけてサマースクールを開講しました。この度は、1 年生から 4 年生の 21 名の参加となりました。

地区社協の児童青少年班が中心となり、企画から実施まで尽力していただきました。主なイベント内容は、民生児童委員の大田会長によるお茶会、ちくわ作り体験、「青山剛昌ふるさと館」元館長のお話など盛りだくさんでした。3 日間大きな事故などもなく無事終了でき、ご協力くださいました公民館職員ならびに婦人の会、地区社協の役員の皆様に感謝申し上げます。

1 日目：牛乳パックの工作・お茶会・紙芝居と読み聞かせなど



2 日目：海と大地の自然館、砂の美術館、乾燥地研究センターの見学・ちくわ作り体験など



3 日目：防災学習・「青山剛昌ふるさと館」元館長のお話など



(地区社協 大江 博臣)

城北たすけ愛ネットワーク事業 ～庖丁研ぎ講習会～

令和7年8月21日(木)午前10時から城北たすけ愛ネットワーク事業の包丁研ぎ講習会を開催しました。

参加者は、他の各種イベントと重なり7名と少ない中、使い慣れた包丁を持参し、講師の西垣茂禮さん(青葉町2-2)、湯口義幸さん(丸山町西)の指導のもとに最初はおっかなびっくりで懸命に研ぎ、仕上げは講師の方にしていただきました。古新聞を切りながら包丁の切れ味を確認している姿は、まるで職人の目つきでした。

これでうまく魚の調理ができそうだという声が飛び交っていました。また、退職して調理をする前にまずは、包丁研ぎを習っておきたいという声も聴きました。参加者の皆さんは、研ぎすまされピカピカになった包丁を持って帰られました。

講師をしていただきました西垣さん(青葉町2-2)、湯口さん(丸山町西)ありがとうございました。



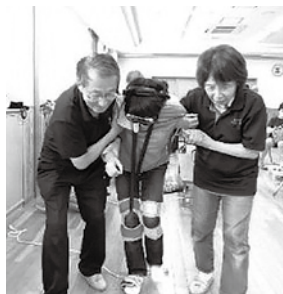
(地区社協 橋本 京子)

弱さに気づける強さ、支えあえる城北地区

令和7年9月7日(日)午前9時30分から城北地区公民館で、防災にも役立つ生活習慣づくり「フレイル予防と防災」と題して、松並町1区、青葉町1丁目、田園町4丁目町内会の皆様を対象に日頃健康づくりに不安を抱えている方、被災時に自力で避難がしづらいご家族を抱える方等34名の参加で、講師の宮本健一様(体メンテナンス専門家、株式会社ラッキープロデュース代表取締役、理学療法士)の指導による「支え手が知る・体験する“フレイル”と予防」の体験型研修会を開催しました。

フレイルシニア体験は装具を装着してフレイル状態での歩行体験(腰が曲がった状態とする、がれき(踏み台)をまたぐ、靴を履く、目の不自由さを演出するため特殊ゴーグル、耳の難聴状態の器具を着て、模擬がれきの上を歩く等体験をしました。参加している皆さんは、フレイル状態による日常生活の厳しさを体験しました。また、体の柔軟性を高め、体幹の筋力、持久力を伸ばすことの重要性を痛感していたようです。研修の中でリハビリによる変事例(ビフォーアフター映像)、鳥取市民が受けられるリハビリ3ヵ月プログラム(無料)、出前講座の講師依頼(5名以上の団体なら年2回は無料)等の有益な情報提供をいただきました。

フレイル予防は、ご高齢の方だけでなく、働き世代からの取り組みが重要です。体験型で楽しく学び本研修を終えました。



(地区社協 岸田 嘉廣)

ふれあい教室

令和7年7月27日(日)城北いこいの家で第2回ふれあい教室として、城北ファミリーバンドによる演奏会を開きました。猛暑の中でしたが、約40名もの多くの会員が参加してくださいました。みんなが良く知っている曲の演奏で音楽と一緒に体操したり、イントロクイズがあったりと、盛沢山の内容で、1時間15分の楽しいひと時を過ごしました。

令和7年9月30日(火)第3回ふれあい教室で、県立美術館と鳥取看護大学・短期大学キャンパス内の絣美術館・絣研究室を見学しました。県立美術館は展示品の入れ替えと重なり目玉展示であるアンディー・ウォーホール「Brillo」の箱の展示がなく、また、コレクションの展示も少なく残念でした。次に訪れた絣美術館・絣研究室では伝統の絣の機織り実習をしている研究生の実演を拝見し、また絣の展示を見学し参加者の皆さんが感嘆していました。



(地区社協 湯口 義幸)

県民総合福祉大会開催

令和7年9月11日(木)県民総合福祉大会がとりぎん文化会館梨花ホールで開催されました。開会式の後、表彰式があり鳥取県知事表彰では、民生委員・児童委員功労者として城北地区の会長大田 紀子 様が表彰されました。おめでとうございます。

福祉バザー

第51回城北文化祭の開催(10月19日日曜日)に合わせ、福祉バザーを催しました。皆様には、その趣旨をご理解いただき、多くの方々から物品を提供していただきました。福祉バザーの売り上げは34,926円になり、これは城北地区社協の福祉活動に充てさせていただきます。ご協力に感謝申し上げます。

(地区社協 笠井 義典)



令和7年度 敬老会事業（祝品配布と敬老の集い）

城北地区敬老会実行委会では、今年度の祝品として『亀甲屋のブランデーケーキ』と鳥取市長並びに市社協会長、地区社協会長の祝詞を約 880 名の方へお配りしました。

また、今年度も 11 月 16 日（日）城北地区公民館で「敬老の集い」を開催し、約 90 名の方が参加されました。この取組は令和 5 年度から行っており城北地区の高齢者の方に楽しんでいただく事と、知り合いの方々で歓談していただく場として催しています。

今年度からは実行委員会から地区社協の事業となった『敬老の集い』では、今年も最初に城北こども園の年長さんが、おじいさんやおばあさんに向けた歌を歌い、とてもかわいく温かい気持ちになった中、スタートしました。

前半は、さじ民話会の会長として活躍されている岡村絹江さんの『佐治谷ばなし』でした。お馴染みの「だんご・カニのふんどし」など、とてもユーモアに富んだ民話の数々を約一時間語られ、その話術に参加者のみなが笑いに包まれました。

後半は、国府町在住で長年音楽活動をされている澤田勝さんのテナーサックスによる昭和を中心とした歌謡ショーでした。クールファイブの「長崎は今日も雨だった」から、最後みんなで合唱した「ふるさと」とアンコール曲までこちらも約一時間大いに盛り上がりました。

その後、飲食スペースで、婦人の会・民生委員・地区社協役員が作られた「ちらし寿司とお吸い物」を食べていただきました。

また、今年は城北地区老人クラブ連合会のお世話による居酒屋スペースも設けられ、約 15 名の方がビールなどを飲みながら、談笑されていました。

参加者からは、「とってもよかったで」「おいしかったで」「ありがとう」の声をいただき、次はもっと多くの方に参加してほしいと思いました。

（地区社協 大田 齊之）



城北地区社協 困りごと相談会

地区社協では困りごとなど様々な相談を受ける時間を金曜日に設けています。お一人で悩まず一緒に考えましょう。お気軽にご相談ください。尚、予約制ですので、1週間前までには城北地区公民館へ申し込んでください。

時 間 午前 10 時から 12 時

場 所 城北地区公民館 福祉相談室

内 容 ■福祉関係（介護・終活・障がい者・子育て・ヤングケアラーなど）

■行政相談

■行政書士無料相談（相続・遺言など）

申し込み先（予約） 城北地区公民館 0857-26-3997

秘密厳守